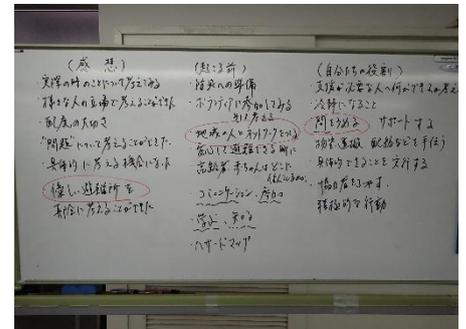


防災ボランティア

令和4年7月30日(土)に岡山一宮高校と岡山市立一宮公民館が主催する防災ボランティア養成講座が本校公孫樹会館研修室開催されました。岡山県登録災害ボランティアコーディネーターの森田靖さんを講師に迎え、本校生徒42名がこの講座に参加しました。

目的：様々な自然災害が発生している現在、自分自身と周囲の命を守る行動ができる、安全と安心を担う人材を養成する。

まず、少人数のグループに分かれ「一宮高校作成HUG」を使用してHUG(避難所運営ゲーム)を行い、これにより防災の基本的な知識を学びました。そして、いざというときに行動ができるように、防災ワークショップで災害時に何ができるかを話し合い、グループごとに発表しました。日常的に地域の方々に挨拶するなど交流を行うことが必要との意見が出され、講師の森田先生からも高く評価していただきました。24名の1年生が参加し、2年生から始まる課題探究に向けて、探究の芽を育むことができました。一宮高校としては今回の参加者の中から防災に関する研究を一宮公民館と連携して行うグループが出てくれることを期待します。



【生徒の感想】

・今まで災害時に自分や家族がどうするべきかを考えることはあったが、防災の運営の仕方や地域の人々との接し方について考えることはなかったため、ゲームを通して具体的な運営方法を考えることはこれからの将来に活かせるものと思った。

また、地域の人とのコミュニケーションの大切さや災害時に全員が快適に過ごせる避難所を目指すような努力を今の若い私たちがすることが重要だと体験を通して学ぶことができた。

・今までは自分が行く避難所や家に置いておく食料程度しか考え、話し合ったことがなかったけど、実際に避難所に行った立場で考えるのは初めてだったので、とても良い経験になりました。避難してくる人の1人1人がいろいろな問題を抱えていて、少しでも多くの人にとっての優しく温かい避難所になるよう工夫して考えるのは意外と難しく、大変でした。今日の経験を今日だけで終わらせず、これからもしっかりと向き合い考え、地域の方とのつながりも大切にしていきたいです。